

東洋学研究情報センター運営委員会議事要旨

日 時 平成22年6月18日(金) 15:00～17:00

場 所 東洋文化研究所大会議室

出席者 柳澤委員長、丘山、園田、大木、小松、加藤、小長谷、水野、宮治、
宮 篤 各委員
羽田センター長

欠席者 村田委員

オブザーバー 榎屋、松田(康)、名和、板倉、廣田、松田(訓) 各東洋学研究情報
センター委員
武田事務長、渡辺専門員、中村係長

議事に先立ち、丘山副センター長から、委員長選出までの間、進行役を務めさせて
いただきたい旨発言があった。

まず、羽田センター長から開会の挨拶が行われ、次いで、出席委員の自己紹介、オ
ブザーバーメンバーの自己紹介並びに事務から配付資料の確認が行われた。

次いで、本運営委員会の委員長として、柳澤委員が推薦され、承認された。
また、運営委員会規則第5条第3項委員として小松委員が指名された。

(議事)

1 センターの概要説明

丘山委員から、配付資料に基づき、センターの概要について説明があった。

2 平成22年度事業について

丘山委員から、配付資料に基づき、平成22年度事業の概要について説明があ
った。

3 平成22年度公募プロジェクトの審査について

丘山委員から、配付資料に基づき説明があり、その後、概ね次のような意見交換
がなされた。

○ 採択を決めるにあたり、今年度及び来年度の予算はどのように考えるべきか。

(今年度予算としては、400万円を計上している。また、来年度についても、新規
の公募プロジェクトを採択できるよう、所内の委員会に対し、要求することを考えて
いる。)

- 今回公募を行っている共同研究とは、どのようなものまでを含めるのか。
いわゆる、出版を主たる目的としているものをどのように考えるか。
- センターとして、重点的に推進する事項が、公募に含まれているが、本来は別に手当すべきものではないのか。
- これまでの研究所での事業の、ある形を具体的な成果であらわすための出版助成は認めて良いのではないか。
- 成果の公開について明確に記述のないものについては、条件を付けて認めることとしてはどうか。
- 次回以降の申請について、科学研究費補助金等との重複が考えられる。

次いで、柳澤委員長から次のような提案があり、承認された。

申請計画の2番目と3番目を採択し、2番目については、より積極的に、公開等々の側面の工夫をしていただく旨のコメントをつけ、場合によってはそのための予算の増額もセンターの判断で行うこととする。

なお、不採択のものについては、その理由を付さず通知することが確認された。

4 平成23年度事業について

丘山委員から、配付資料に基づき説明があった。

5 次回運営委員会の開催日程について

丘山委員から、配付資料に基づき、概ね次ぎのような説明があり、了承された。

平成23年度の公募プロジェクト事業については、22年11月1日から12月24日の予定で募集を行い、1月に審査をお願いし、2月に本委員会を開催することを予定している。日程調整については12月頃行うこととしたい。

なお、審査の方法については、来年度の申請件数により、委員長と相談の上、今回の方法とは変更することも了承いただきたい。

次いで、委員の間で概ね次のような意見が出された。

- 拠点の経費にかかわるセンターの全予算の配分を示してほしい。
(次回の運営委員会で示すこととしたい。)

最後に、羽田所長から閉会の挨拶があった。

以上